

2021年4月16日

株式会社ゼンリン

建設業界における BIM/CIM の業務効率化を支援する 「ゼンリン 3D地図データオンライン提供サービス」に新機能登場！ ～航空写真貼付機能、オブジェクト・マテリアル編集機能が追加～

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、3D地図データをオンラインで提供する「ゼンリン 3D地図データオンライン提供サービス」において、建設業界における BIM^{※1}/CIM^{※2}の業務効率化を支援する3つの新機能を4月16日(金)より提供開始しました。新機能追加により、プレゼンテーション等に利用する3Dモデルの「質」の向上に関わる、人件費や作業時間の削減が可能になります。

※1:3次元の形状情報に加え、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築すること。Building Information Modeling の略称。

※2:建築分野で進められている BIM の概念を土木工事にも取り入れたもの。Construction Information Modeling /Management の略称。

■「ゼンリン 3D地図データオンライン提供サービス」とは

必要な範囲と仕様を指定するだけで、3D地図データを利用ソフトに最適なフォーマット^{※3}でダウンロードできるサービスです。効果的なプレゼンテーション資料の作成や、関係者間でのイメージ共有による合意形成の迅速化が図れます。各種料金プランから、用途や使用量に応じてご利用いただけます。

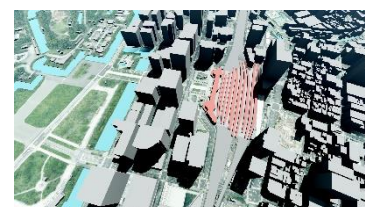
※3:FBX形式/3DS形式/DXF(2D/3D)形式等。

■今回追加された3つの新機能

これまで、特定のソフトや専門知識が必要で手間がかかっていた BIM/CIM のモデル編集作業を、サービス上で簡単に設定できるようになり、更なる業務効率の向上を実現します。

① 航空写真貼付機能

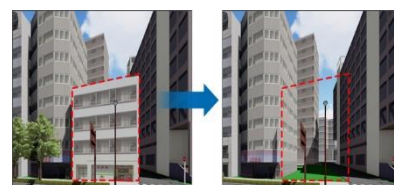
国土地理院の航空写真や、ユーザーが保有する航空写真を地表面に貼り付けた状態で、3D地図データをダウンロードできます。航空写真と3D地図データ同士の位置合わせ作業等をせず、よりリアルなモデルを表現することが可能です。



▲航空写真を貼付けた3D地図データ

② オブジェクト編集機能

簡単な設定で、建設予定地にある既存の構造物を削除でき、建物・道路・樹木等の必要なオブジェクトをダウンロードできます。プレゼン資料の作成や、設計業務の効率化に役立ちます。



▲3Dモデルの削除前、削除後のイメージ

③ マテリアル編集機能

建物・道路・水域・敷地などのレイヤー種別ごとに、3Dモデルのマテリアル^{※4}を編集できます。サービス上でサンプルモデルを見ながらマテリアル色を変更できるほか、ユーザー保有のテクスチャ画像を貼り付けることによる見栄えの変更も可能です。これにより、データダウンロード後の編集作業の省力化を実現します。



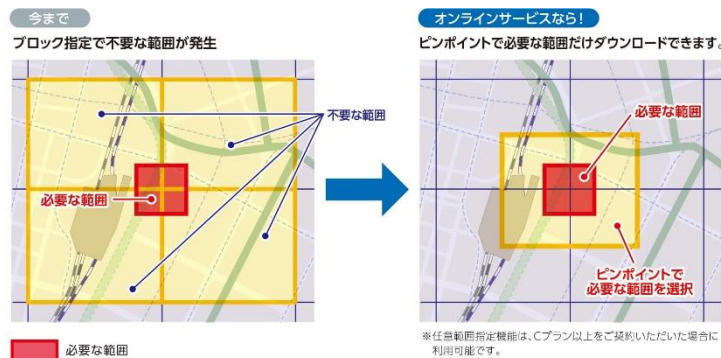
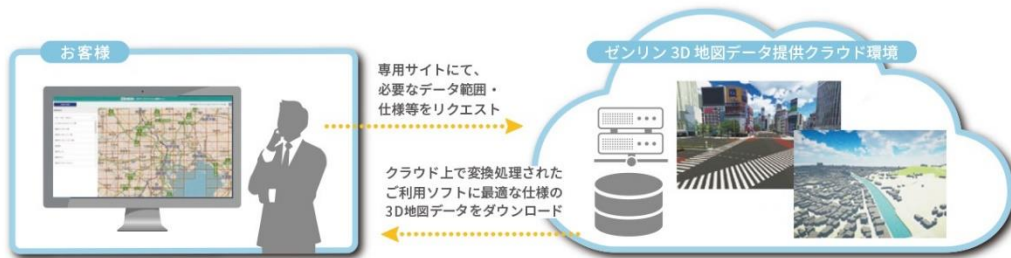
▲マテリアル設定イメージ

※4:オブジェクトの表面色やテクスチャを表す

【補足資料】

■「ゼンリン 3D地図データオンライン提供サービス」サービス概要

利用ソフト・用途に沿った最適な仕様で3D地図データを提供する、法人向けのオンラインサービスです。必要な時に必要なデータだけをスピーディにダウンロードすることが可能で、業務効率化や人件費削減を支援します。



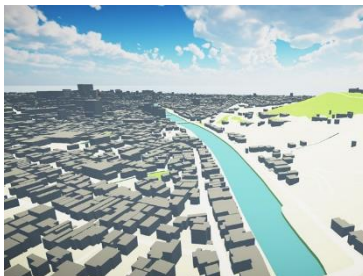
■ 3D地図データの種類

・3D都市モデルデータ



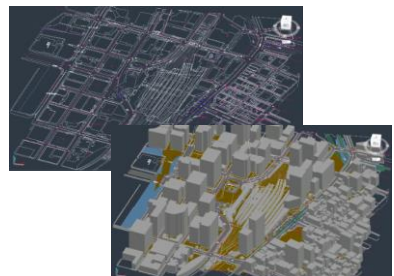
▲ゼンリンの地図情報を基盤に現実の街を忠実に3Dモデル化 (国内 21 都市を整備)

・広域3次元モデルデータ



▲全国の詳細な地図情報から簡易モデルの広域3Dデータを提供 (全国対応)

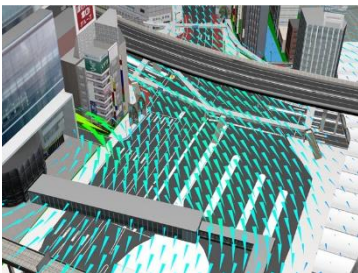
・DXF データ(2D/3D)



▲CAD 含む各種 BIM/CIM ソフトで 3D、2D、DXF 形式の詳細地図をご利用いただけます。(全国対応)

■ 活用例

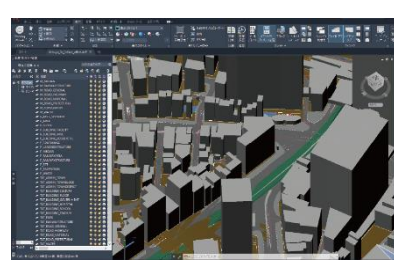
・環境変化のプレゼンテーション



・建築物の魅力を引き出す



・CAD 上での設計・シミュレーション



■ 詳細 URL

「ゼンリン 3D地図データオンライン提供サービス」仕様の詳細や価格は、商品ページよりご確認ください。

<https://www.zenrin.co.jp/product/category/gis/contents/3d/index.html>